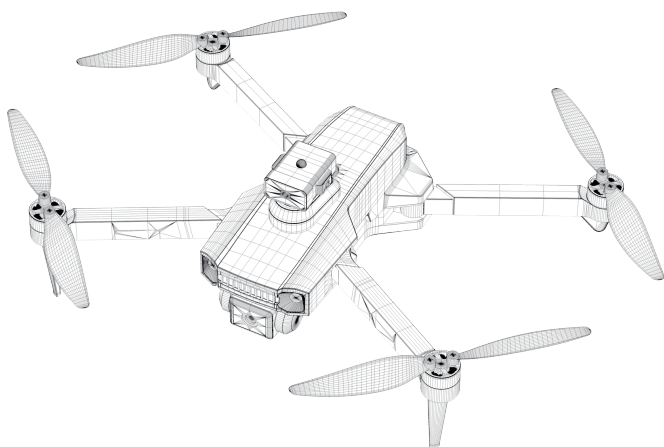


ドローンユーザーマニュアル

S179



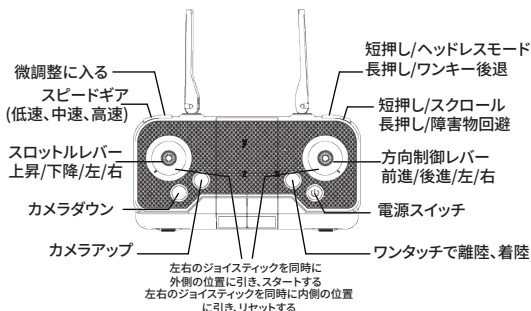
- 📧 メールアドレス: hytobp@htwlkj.net
- 📧 公式サイト: <https://www.hytobp.net>
- ▶ YouTube アカウント: @HYTOBP (チュートリアルビデオを含む)
- 📘 Facebook アカウント: @Hytobp Ht
- 📞 電話番号: +1(602) 563-6540



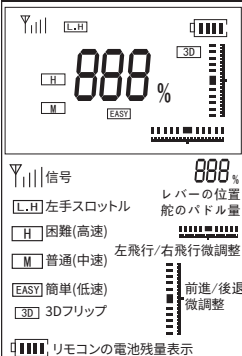
1. ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
2. 無風の、晴れた、明るい環境で飛行するようにしてください。
3. 飛行する前に、ドローンのバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。

折りたたみ式4 軸ドローンマニュアル

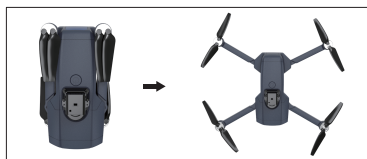
リモコンの操作説明書



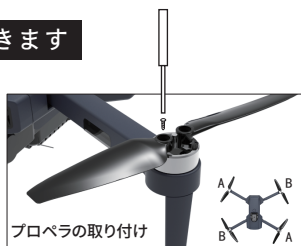
リモコン画面表示アイコンの紹介



ドローンは折りたたむことができます



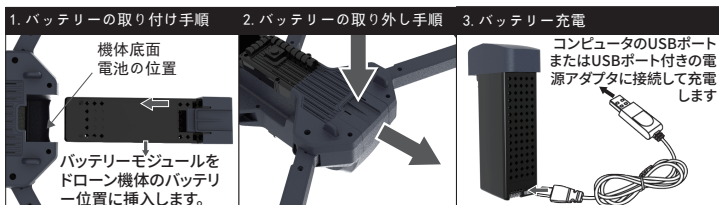
1. ドローンをパッケージから取り出したら、4 軸アームを所定の位置まで伸ばします。
(図に示すように)



2. プロペラをモーターの中心近くのネジ穴に合わせて(アームのロゴはプロペラと一致している必要があります)、ネジを時計回りに締めます。(図に示すように)

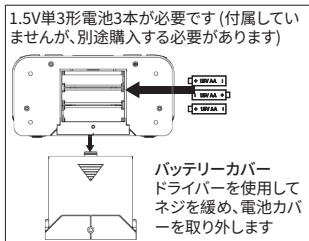
バッテリーの取り付け、取り外し、充電の手順

1. ドローン底部にバッテリーを取り付け、ドローンのバッテリー位置にバッテリーモジュールを挿入します。(図①に示すように)
2. ドローン底部のバッテリーを取り外すには、矢印の位置を押してバッテリーを引き出し、バッテリーを取り出します。(図②に示すように)
3. ドローン底部のバッテリーを取り出した後、バッテリーを充電ケーブルに接続し、USB ポートをコンピュータのUSBポートまたはUSB ポート付きの電源アダプタに接続して充電します。充電中、バッテリーインジケータライトは常に赤色に点灯し、完全に充電されたインジケータライトは緑色に点灯します。
充電時間は約2〜2.5時間です。



リモコン電池の取り付け

1. リモコンの背面にある電池カバーを取り外し、電池電極の指示に従って1.5V「単3形電池」3本を正しく取り付けます。



電池使用上の注意

- 電池の使用には一定のリスクがあり、人体や財産に多大な損害を与える可能性がありますので、使用者はすべての責任を負ってください。メーカーおよび販売店は、バッテリーの使用(充電、放電、保管など)を管理するものではなく、バッテリーによって引き起こされる人的または財産への損害については責任を負いません。
- 電池が液漏れした場合は、液体が皮膚や目に付着しないように注意してください。皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸と水で洗ってください。目に入った場合は、すぐに多量の冷水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
- 充電器から異臭、異音、発煙等の異常が感じられた場合は、すぐにプラグを抜いてください。
- 火災、感電、爆発の原因となりますので、次のことを厳守してください。

充電

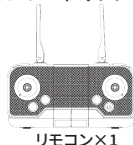
- バッテリーは必ず工場出荷の専用充電器を使用し、破損した充電器や他の充電器を使用して充電することは固く禁止されています。
- 膨張、液漏れ、破損した電池は充電しないでください。
- 過充電しないでください。バッテリーが完全に充電されたら、充電器を取り外してください。過熱を避けるため、充電後はバッテリーを再充電しないでください。
- 可燃物の近くや、可燃性(カーペット、木の床、無垢材の家具など)や導電性の表面の上で充電しないでください。バッテリーには常に注意してください。
- 使用後すぐに電池が熱いうちに充電しないでください。
- バッテリーの充電温度は0℃～40℃にしてください。

リサイクル

- 生活ゴミとして捨てないでください。損傷したバッテリーまたは使用不能なバッテリーは、特別に設計された容器に入れる必要があります。
- 本装置は電子部品と電池で構成されています。電子機器および電気廃棄物については、特別な廃棄要件に従ってください。
- 地域の集中ごみ処理方法を熟知してください。

付属品一覧

付属品とその数量を注意深く数えてください。付属品が不完全な場合は、購入証明を提示し、交換のために直ちに販売者に連絡してください。

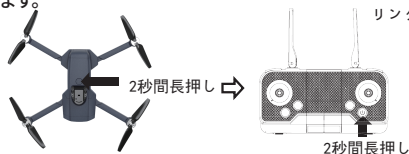
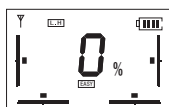


リモコンをドローンにリンクしてロックを解除する

リモコンとドローンのリンク

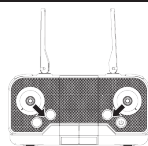
1. ドローンの電源スイッチをオンにします
2. リモコンの電源スイッチをオンにします
3. リモコンとドローンの電源インジケーターが点滅から点灯に変わり、同時に「ディディ」という音が2回鳴り、リンクが完成することを意味します。

リモコンリンク状態の表示



左右のジョイスティックを同時に内側の位置に引き、校正する

ドローンを平らな地面に置き、機首(カメラがある側)を前に向け、左スロットルコントロールスティックを右下隅に動かし、同時に右方向コントロールスティックを左下隅に動かします。ドローンのインジケーターライトが点滅し始め、その後常時点灯に変わり、校正が完了したことを示します。



起動

1. スロットルコントロールスティックを押し上げると、ドローンのプロペラが回転し始めます。スロットルコントロールスティックを放し、再びスロットルコントロールスティックを押し上げると、ドローンはこの位置でホバリングします。

ワンタッチで離陸/着陸

ドローンのロックが解除されたら、ワンタッチで離陸/着陸ボタンを押すと、ドローンは離陸/着陸できます。

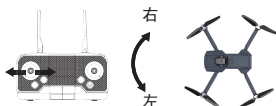


ドローン機能デモンストレーション

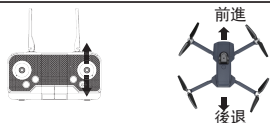
重要な注意事項: カメラのあるドローンの方向が前方、その逆の方向が後方です。



左のジョイスティック(スロットル)を上を押すと、プロペラの速度が上がり、機体が上昇します。
左のジョイスティック(スロットル)を下を押すと、プロペラの速度が遅くなり、機体が降下します。



左のジョイスティックを左に押すと、機首が左に曲がります。
右に押すと機首が右に曲がります。



右のジョイスティックを上を押すと、機体が前進します。
右のジョイスティックを下を押すと、機体は後退します。



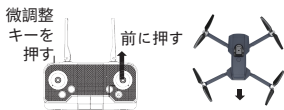
右のジョイスティックを右に押すと、機体が右に飛行します。
右のジョイスティックを左に押すと、機体が左に飛行します。

特別な注意:

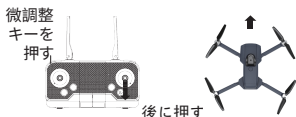
スロットルスティックをゆっくりと押します。機体が地面から離れて空中にあるとき、機体が空中で回転したり、異なる方向に傾いたりした場合に、微調整する補正動作を使用できません。

微調整モードに入る

飛行中に機体がずれた場合に、この機能を利用して飛行姿勢を微調整することができます。機体がズレた場合は微調整ボタンを押して、「ディ」という音が鳴る後5秒以内に方向ジョイスティックを逆方向に動かして機体がズレなくなるまで微調整してください。微調整モードでは、5秒以内に何も操作しないと自動的に微調整モードが終了しますが、再度微調整ボタンを押して微調整モードを終了することもできます。



ドローンがホバリング中に後方に飛行している場合、微調整キーを押して方向ジョイスティックを前方に動かして、ドローンがスムーズにホバリングするように微調整します。



ドローンがホバリング中に前方に飛行している場合、微調整キーを押して方向ジョイスティックを後方に動かして、ドローンがスムーズにホバリングするように微調整します。



ドローンがホバリング中に左に飛行している場合、微調整キーを押して方向ジョイスティックを右に動かして、ドローンがスムーズにホバリングするように微調整します。



ドローンがホバリング中に右に飛行している場合、微調整キーを押して方向ジョイスティックを左に動かして、ドローンがスムーズにホバリングするように微調整します。

注:ドローンが地面から30CM以内にある場合、ドローンは自身のプロペラの影響を受けて不安定になります。これを「地面効果反応」といいます。ドローンの高度が低いほど、地面効果反応の影響は大きくなります。

速度ギア（低速、中速、高速）

ドローンの飛行制御プロセス中に、ドローンの飛行速度は制御の熟練度に応じて調整できます。リモコンの電源を入れると、デフォルトでは低速になっており、速度ボタンを押すと「ディ、ディ」という音が2回鳴り、中速に入ったことを示します。もう一度ボタンを押すと「ディ、ディ、ディ」と3回音が鳴ると高速ギアになり、もう一度押すと「ディ」が1回鳴ると低速ギアに戻ります。

リモコンの低速、中速、高速の表示状態



低速液晶画面に
「EASY」が表示される



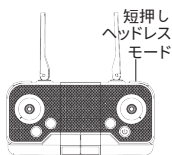
中速液晶画面に
「M」が表示される



高速液晶画面に
「H」が表示される

ヘッドレスモード/ワンキー後退

- 1.ドローンが離陸する時、ドローンの機首が向いている方向が、ヘッドレスモードをオンにするデフォルトの正面になります。特定の高度まで飛行していて、ドローンの機首の方向がはっきりと見えない場合は、ヘッドレスモードボタンを短く押して、ドローンのヘッドレスモードをオンにすることができます。この時、離陸時に機首を向けている方向が機体の進行方向となります。このモードを終了するには、ボタンをもう一度押します。
- 2.このボタンを押し続けると、ワンキー後退機能が有効になり、離陸時にドローンの尾翼が向いていた方向にドローンが飛行します。方向ジョイスティックを任意に動かして、ワンキー後退機能を終了します。



3Dフリップ

基本動作をしっかりマスターしたら、さらにスリリングな3Dフリップ機能に挑戦してみます。機体を高さ3メートルまで飛行させた後、3Dフリップを押すと、リモコンから「ディ」という音が鳴り、方向ジョイスティックを前/後/左/右に動かすと、機体を前/後/左/右にロールさせることができます。3Dフリップボタンを押すと、8秒以内に何も操作しないと自動的に回復します。



360 障害物回避モード

ドローンが障害物のある環境で飛行している場合、ドローンの障害物回避機能をオンにすることができ、360度の障害物回避モードに入ります。障害物回避モードでは、機体が前/後/左/右に障害物を検知すると、緊急停止機能を作動させます。ドローンの安全な飛行を確保するために！

(縦横6メートル*6メートル以上の屋内空間では障害物回避機能をオンにすることを推奨します)

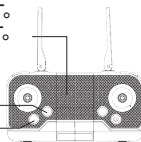
カメラ角度調整

「カメラダウン」ボタンを押して、カメラを下向きに調整します。

「カメラアップ」ボタンを押して、カメラを上向きに調整します。



カメラアップ
カメラダウン



飛行前環境

1. 屋内で飛行する場合: 周囲に障害物やペット、人がいない広い場所を選んでください。
2. 屋外で飛行する場合: 暖かく晴れた、無風または風の弱い日を選んでください。
 - ① 極端な気温の天候下では飛行しないでください。過度に高温または低温の天候下で飛行させると、飛行効果に影響を与えたり、モデルが損傷したりする可能性があります。
 - ② 強風時は飛行させない。強風により機体が消失したり、破損する恐れがあります。

注意事項

1. リモコンまたは機体のバッテリーが低下すると、リモコンの距離が影響を受けます。
2. ドローンのバッテリーが不足すると、飛行高度が不足したり、離陸が困難になったりします。
3. 機体が損傷または変形した場合は、適時に修理してください。重大な場合、ローターが破損または損傷した場合は、怪我をする可能性があるため、飛行させないでください。
4. 液漏れによる製品の損傷を避けるため、長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り外してください。
5. ドローンを損傷したり寿命を縮めたりするため、ドローンを高地で墜落させたり、重大な衝突を起こさせたりしないでください。

問題解決と指導

問題	原因	解決方法
リモコンの電源が入っていない	1. 電源スイッチが入っていない	1. スwitchを押して、電源が入ります
	2. 正しい電極の指示に従ってバッテリーを挿入しない	2. 電池ボックスに表示されているプラスとマイナスの極性に従って電池が挿入されていることを確認してください
	3. 電池切れ	3. 電池を交換します
ドローンが応答しません	1. リモコンが機体にリンクされていません	1. 機体とリモコンの電源を再度入れ、再度バインドします
	2. ドローンは低電圧保護に入り、機体表示灯が点滅します	2. 機体を充電します
ドローンの飛行状態の偏差	1. ドローンが水平面上に置かれていない	1. 機体を水平面に置きます
	2. ドローンは片側に飛行します	2. リモコンの微調整キーを調整します。
ドローンのリモコンが感度が悪い	1. リモコンの電力が不十分です	1. リモコンの電池を交換します
	2. 機体のリモコンの距離を超えています	2. ドローンを有効なリモコン距離内に保ちます